

## 飯舘村住民意向調査 概要

調査対象：世帯の代表者（2973世帯） 調査時期：平成27年1月7日～1月21日  
 調査方法：郵送配布、郵送回収 回答者数：1413世帯 回収率：47.5%

### 現在の避難先市町村について (%)



### 現在の住居形態について (%)



### 今後の行政支援について

優先順位順

#### 戻りたいと考えている方

生活が安定するまでの補償の継続  
 住宅の修繕・建替えの支援  
 医療・介護福祉施設の再開や新設

#### 戻らないと決めている方

原発災害に関する補償の継続  
 自宅・土地等財産の維持管理に関する支援  
 健康管理への支援

今後の行政支援について、調査時点で「戻りたいと考えている」「戻らないと決めている」と回答したどちらの方も①生活補償②住居関係③健康面 以上の3点が行政支援として必要であると考えていることが分かりました。

### 帰還を判断するうえで必要な情報について

優先順位順

#### 1. 放射線量の低下の目処、除染成果の状況

復興の重要課題である除染。3回の調査全てで1番多くの回答がありました。

#### 2. どの程度の村民が戻るのかの状況

長引く避難生活の中でも、村民同士のつながりを大切に考える姿がうかがえます。

#### 3. 道路・バス・病院などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の目途

全村避難が続く村では、帰村に向けた社会基盤（インフラ）整備も重要課題のひとつです。

### 村復興へ 村民一人ひとりの意向を

国・県・村では、今回の住民意向調査の結果を今後の復興施策に取り入れていく予定となっています。

今後、村復興に向けて村民の皆さん一人ひとりの考え・意向がより大切になってきますので、引き続き村民の皆さんの考え・意向をお知らせください。

# 飯舘に戻りたい 29.4%

## ～ 住民意向調査結果 ～

復興庁、福島県、村が合同で住民意向調査を実施し、3月6日に調査結果（速報版）が公表されましたのでお知らせします。

住民意向調査は、これまでに3回実施されていますので、それらの調査結果と合わせてお知らせします。なお、住民意向調査の詳しい結果については、復興庁のホームページ (<http://www.reconstruction.go.jp/index.html>) で確認することができます。

### 将来の意向について

#### 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)

平成25年度 21.3% **8.1%増** → 平成26年度 29.4%

#### 判断がつかない

平成25年度 36.1% **3.6%減** → 平成26年度 32.5%

#### 戻らないと決めている

平成25年度 30.8% **4.3%減** → 平成26年度 26.5%

※平成26年度調査より（将来的な希望も含む）が追加されました。

#### 平成25年度調査と比較すると

「戻りたいと考えている」人が、8.1%多くなり、「判断がつかない」「戻らないと決めている」人がどちらも少なくなっています。今回の調査で「戻りたいと考えている」の回答が増加した要因として、遅れていた除染が大きく前進したことで、帰村を現実的にとらえる人が増えたのではと考えられそうです。一方で、判断がつかない方も32.5%と多く、帰村に慎重な考えを持つ方も多い現状が現われています。

### 飯舘村とのつながりを保ちたいか (%)

今回の調査から将来の意向について、「判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみに行われた問いです。



「判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した人の約半数が「飯舘村とのつながりを保ちたい」と答えています。どこにいても村と関わっていききたいという考えが見られます。